

## 平成22年度第6回（第18回）磯辺地区学校適正配置地元代表協議会 議事要旨

1 日 時 平成23年3月7日（月） 10時～12時

2 場 所 磯辺地域ルーム（磯辺第一中学校内）

### 3 出席者

- (1) 委 員 20人  
欠席4人：木村委員、池上委員、今井委員、高橋委員
- (2) 事務局 高須課長、古館主幹、加茂主査、山崎主査補、安井主査補、松木主任主事
- (3) 傍聴者 25人

### 4 議題

- (1) 小学校の統合場所について
- (2) 中学校の統合について
- (3) 次回開催日時・場所について

### 5 会議資料

- (1) 次第と席次表
- (2) 平成22年度第6回「協議会」資料
- (3) 平成22年度第5回「協議会」資料<前回資料>
- (4) 前回議事要旨

### 6 会議の概要

- (1) 小学校の統合場所について  
磯辺第四小学校に決定した。
- (2) 中学校の統合について  
統合時期や場所について、次回継続審議となった。
- (3) 次回開催日時・場所について  
次回は平成23年5月末から6月初めに磯辺地域ルームで開催とした。

### 7 発言要旨

#### (1) 会長挨拶

<吉岡会長>

悪天候の中、ご出席いただき感謝する。統合小学校の場所をどの小学校にするかという議論は、もう出尽くしているのだろうと思う。そうでないという人は、どんどん発言して、その理由を言っていたきたい。議論が長引くことで影響を受けるのは学ぶ人、子どもたちなので、早く結論を出していきたいと思う。

#### (2) 協議

##### 議題1 小学校の統合場所について

<鳥越議長>

前回協議で、平成25年4月に磯辺一小・二小・四小の3校を同時に統合することに合意した。統合場所については、ひと通り意見はいただいたが、継続審議とし、本日協議することになっていた。

まず事務局に資料の説明をお願いします。

<事務局>

○平成22年度第6回「協議会」資料を説明。

<鳥越議長>

この件について、ご質問はあるか。

<村上委員>

耐震に関する説明があり良く分かった。事務局に質問だが、統合校として、耐震補強の必要がある一・二小を選んだ場合は、耐震補強工事を終えた後に開校すると考えてよろしいか。

<事務局>

耐震補強をしないと子どもたちの安全が確保できないので、統合校として使用する前に、一旦仮校舎に児童を移して、校舎内を空っぽにしてから耐震補強工事を行う。

<村上委員>

そうすると、開校するときには全て耐震設計になるということで、3校を評価する際には耐震を外して考えていいのか。どの学校を選ぶかが、25年4月開校に影響するか。

<事務局>

耐震補強をする分、工事に時間がかかるので、統合校として使用できるようになるまでに時間がかかるということがあるだろう。

統合小学校は25年4月の開校が決まっているので、仮に一小を統合校にする場合、耐震補強工事をするために、一小で25年4月開校は出来ず、他の校舎を仮校舎にして開校することになる。

<橋爪委員>

どの小学校を統合校としても25年4月には仮校舎での開校になると考えていたが、そうではないのか。どこを統合校としても、ある程度の期間は仮校舎が必要ということではよろしいか。

それから、一・二小の耐震補強工事だが、管理・特別教室棟は必要ないのか。

<事務局>

耐震補強工事については、Is値が0.6未満の場所から実施している。一小は普通教室棟が0.41であり、二小は普通教室棟が0.53、体育館側の管理・特別教室棟が0.37なので、これらを優先して補強する。一小の管理・特別教室棟、二小の校門側の管理・特別教室棟についても、ゆくゆくは工事が必要な場所ではある。

質問があったので、開校と工事の関係を説明する。磯辺四小は耐震補強工事を必要としないので、改修のボリュームが少なく、工事期間が短く済む。

①磯辺一小あるいは磯辺二小を統合場所にした場合

まずは仮校舎を決めて、24年度（開校前年度）に仮校舎となる学校の必要な教室を修繕する。これは、どの学校が仮校舎になっても、現在小規模校であり使っている教室が少ないため、教室として使っていない（ランチルーム等になっている）場所を普通教室に戻す修繕をしなくてはならないためである。25年4月の開校時には仮校舎に移ってもらう。そして空になった統合場所の改修工事を始めるが、改修工事箇所が多く、1年半～2年を要するため、早くて26年度の後半、場合によっては27年度から統合場所を使用することになる。

②磯辺四小を統合場所にした場合

2つの案が考えられる。

A案（仮校舎を使う案）：仮校舎の修繕を24年度に行う。25年度は四小の改修を行うが、耐震補強が必要ないので、1年で済むと考えられ、26年度からは統合校舎に移ることが出来る。この場合は2回引越しが必要である。

B案（仮校舎を必要としない案）：25年4月の統合時から四小でスタートする。四小は耐震補強が不要で改修のボリュームが少ないので、こういうことができる。この場合、四小には少し負担をかけるが、必要な教室の修繕を24年度に行う。内装・外装・給食室等の改修は25年度の夏休み等の長期休業を中心に行う。通常の学校改修と同じと考えていただければいいだろう。大きな利点としては、初めから四小でスタートできることと、引越しが1回で済むこと

である。

<鳥越議長>

では、小学校の統合場所について協議を行う。前回の協議内容は各団体に持ち帰っていただいていると思うので、その結果も踏まえ、願います。

<磯辺第一小学校保護者会代表>

前回の協議会后、一小を統合場所にした場合のメリットを校長先生と教頭先生に聞いた。

- ・校庭の面積がかなり広く、100メートルのコースが縦に取れる広さがある。
- ・一日を通して日当たりが良く、校舎の陰にならない。
- ・校長室・職員室から校庭を見渡すことが出来る。
- ・校舎については教室数が多く、統合後も普通棟だけで足りる。また、廊下や階段の幅が広いので集団での移動・避難等がスムーズに行える。
- ・学校周辺の道路の幅が広いので、移動教室のバスを学校前につけることが出来る。
- ・運動会等の大きな音が周辺に響きにくい。

ということを挙げていただいた。

その後、保護者会の役員会で統合場所選定等の話し合いをした。保護者から多く出た要望や不安を説明する。

- ・場所選定に関しては、通学距離を考えると四小が妥当だというのは納得できるが、一小と四小は近いのに、一小の広さ等のメリットを優先させたほうが良いのではないか。
- ・市の財政状況を考えると、跡地が売却されることになるのではないか。その場合、跡地が住宅開発されて児童数が増えてしまい統合校が狭くならないか。
- ・どこが統合校になっても、一小のグラウンドや体育館は、現在使用している子どもたち（野球チームやサッカーチームなど）が引き続き使えるようにしてもらいたい。校舎についても、現在の磯辺公民館は場所的にも規模的にも利用しにくいので、子どもたちが利用できる機能を持った磯辺地区のコミュニティセンターのようなもの、具体的には図書館、自習室、小さい子のプレイルームのようなものが備わったものにしてもらいたい。公共施設として使うことで、一小に隣接しているわかしおルームを引き続き利用する児童の行き帰りに不安がないのではないか。

その他、具体的に統合年度が出たことによって、2度の統合の経験はさせないこと、引っ越しなどの不安を考えると、中学校の統合も小学校と一緒にしてほしいという意見をもった保護者が多くなったようだ。

結果として、一小としては通学距離という尺度だけではなく、全ての小学校を多角的に比較検討したうえで、客観的な見地から決定してほしいという意見である。

協議会の委員は、立場上、代表している学校を押さざるを得ない状況に加えて、磯辺全体として考えたときに保護者・地域代表の立場からは見えない判断材料が多々あると思うので、協議会の議論を踏まえて最終的な結論を事務局の方に出してもらおうという考え方もあるのではないかと考えるが、いかがだろうか。

<大和田委員>

二小は、今回アンケート等は取っていないが、これまでいろいろな意見が出た中で「二小が統合小学校として残るのであれば最高だが、残らないのであれば小学校を四小に、統合中学校としては一中を残して欲しい」という意見が多い。避難場所の確保を考えて、そういう意見が出ている。

<竹内委員>

三小としては当事者ではないので全体に聞くことはしていない。子どもたちが同じように環境を共有できる、費用があまりかからないといった観点が必要なのかと思う。そうすると四小が最適なのかと思うが、一中を統合校にするというのも一つの選択肢として入れてもいいのではとも思う。

一小の隣の野球場跡地の開発の話もあるので、開発する側から土地活用を考えた時には一小

が統合校でなくなったほうがいいのかもわからないが、わかしおルームのこともある。四小には子どもルームが設置されていないので、わかしおルームを継続利用することになるだろうが、わかしおルームだけがぼつんと残るのはあまり好ましくないと思うのでその取扱いは慎重にすべきかと思う。

<磯辺第四小学校保護者と教職員の会代表>

四小も教頭先生にメリットを聞いた。

- ・ 3校（一・二・四小）の中心にある
- ・ 耐震について新基準を満たしている
- ・ 駐車場が広い
- ・ 体育館のトイレが、入口ではなく内部にある
- ・ 校長室・職員室から校庭が見渡せる

保護者会では、事務局に最終的に決めてもらうのもいいのではないかという意見や、中学校統合もできるだけ同時にしてほしいという意見が多かった。

<吉田みどり委員>

一中では、小学校の統合に関しては意見は無く、協議会の決定に従うことになっているが、中学校の統合について、小中同時統合でなるべく早くしてもらいたいという意見がある。

娘が一小に通っているので、一小の保護者として言わせていただければ、通学距離、通学時間よりも何倍もの時間を校舎で過ごすことになるので、施設の充実、広さ等も考えてもらいたいと思う。

<橋爪委員>

二中でも、一中と同様、小学校統合に関しては協議会の決定に従うが、今回の資料の耐震工事等の条件や、配置図を見ると、四小がいいのかなと感じた。それと、一小のグラウンドの横の跡地を企業庁に返還するが、以前に事務局から、仮にそこに大きなマンションが建った場合には三小区になるかもしれないという話があった。統合校が一小の場所になった場合、隣に小学校があるのに、三小に行くのは違和感があると思うので、その辺りを考え直す必要も出てくるのではないか。一小が広いのはわかるが、統合して子どもが多くなると、一時的な狭さはどこでも感じるだろう。広さよりも、保護者が気にする通学における安全面を考えて決めていくべきだと考える。

<鬼塚委員>

高浜地区としては、特に意見は無い。

<近藤委員>

今までの意見を聞いていると、私としては四小がいいのではないかと思う。

<安達委員>

私としては、一小が中学校で、地区の端と端に小学校で、と思っていたがそうはならなかったようだ。

地域には、四小を地域ルームに、という根強い思いがずっとあった。四小の位置は地理的に中央で、子どもたちにも高齢者にも地域の人にもいい、何があってもいい位置なのだろう。三小があって、統合小学校が一小では近すぎるし、それで考えると四小かと思う。四小にすることに賛成というわけではなく、四小が統合小学校になると、一小の広い土地がどうなるのかという思いもあるので、結論が出しにくい。

<山崎委員>

私も高浜地区から代表で来ているので、意見を述べる立場にはないが、委員の一人として発言するならば、耐震工事が完備されている四小がいいのかなという感じがする。

<古田委員>

本日の資料は判断をするには分かりやすいかと思うが、私も統合に関係する地区委員ではないので結論についての意見は控えたい。

<水谷委員>

四小でいいと思う。最終的には保護者の皆さんが賛成する必要があるので、一小・二小も含めて施設見学をした方がいいのではないかと思います。

<関委員>

皆さんからいろいろな意見が出て、確かにいろんな見方が出来ると思う。今回、小学校の話がメインになっているが、小学校統合場所を決める際に中学校統合場所も考えないと、仮に統合小が一小あるいは四小、統合中が二中になった場合には現在の一小・一中区に避難場所が無くなることになるので、その辺りを考えていく必要があるだろう。

<大浦委員>

地域全体を考えると四小かと思うが、磯辺地区全体のバランスを考えると一小もいいだろう。一小の跡地を残して、新しい設備を整えるのがいいと思う。

<藤岡委員>

子どもも大切だが、磯辺地区は高齢化が美浜区トップである。本日の資料を見ると28年度には子どもは減ってくる。四小は磯辺地区の中心であるので、四小跡地は地域のために住民全部が活用できる施設にすることを考えて、統合校は一小か二小にしてもらいたい。大浦委員が言ったように、一小の隣の野球場が将来開発される場合、900戸程度のものが建つ可能性もあるということがあった、そうすると子どもが増えるだろう。早めに企業庁に働きかけて野球場の土地を少し残してもらい、統合校を一小にして、将来子どもが増えて学校を広げる必要が出たときにはその土地を利用することもできるのではないかと思います。既存の考え方だけではなく、そういう風に企業庁に働きかけてもいいのではないだろうか。

<村上委員>

学校も大切だが、地区全体として考えると、広い土地があったほうが何らかの対応が出来ていい、そして地域の真ん中にある方がいい、という観点では、四小の場所は、子どもたちが6年間使う小学校ではなく、地域で20～30年使える施設として残しておきたい。私としては、一小の広い土地の中で増築等の要素も含めて統合校を考える。そして、四小は地域のために残す。その二本立てを提案したい。

耐震については、最終的にはどれも工事されるということなので、使用開始時期が多少はズレるだろうが、最新の建築基準法に基づいて建築される校舎はI s値が1以上になるだろうから、統合校選びに関して考える必要はないだろうと思う。

<吉岡会長>

委員の一人として発言する。皆さんが使いたいから四小を地域のために残したいという話だが、子どもたちは学校に毎日通う。地域の方が施設を使うのとは頻度が違う。年に数回使う人たちの便宜のために子どもたちを犠牲にすることはないだろう。私個人としては、学校は中心にある四小がいいだろうと思う。

<村上委員>

年に数回ではない、一つの団体では月に一度かもしれないが、いろいろな団体が使用する。それに加えて、地域の方も利用する。

<別所委員>

学校としては自分の学校に愛着があるからメリット等を言ったりしてアピールする。そういった保護者の意見も参考にして、もう少し子どもを中心に議論したい。地域の視点とは平行線のような気がするので、事務局に総合的に判断してもらって皆さんに提案してもらうのも一つの案だろうと思う。自分たちの要望を言い出したらきりが無いのではないだろうか。

<橋爪委員>

一小の土地を広げるという話が出たが、前回それは絶対に出来ないということだったので、その前提で保護者会でも説明している。が、もしも一小を広げることが可能であるなら、バランスを考えると一小の場所を統合中学にすべきだと思う。また、子どもルームの件だが、働く親が大半なので、新設小学校には校舎敷地内に子どもルームを作るということを統合の条件に

してもいいくらいだと思う。

<竹内委員>

事務局に確認したい。一小を統合校としないと決定した場合、一小の跡地を、現在の二街区にあたる企業庁に返却が決まっている場所のような活用をしたいという条件にすること、それを要望書に組み込むことは可能か。

<別所副会長>

そのような決定は教育委員会がすることではないだろうが、要望を出すことは出来るだろう。

<竹内委員>

跡地利用が決定するまでは、土地活用という観点で、一旦は更地になるわけだから、そういう考え方もあるのかと思う。避難所等として活用させて欲しいという要望を出したい、ということだ。

<鳥越議長>

私の立場で言わせていただくと、一小の土地、企業庁の土地について「仮にできたら」「もしこうであれば」という仮定のうえで結論を出したくない。企業庁の土地利用は出来ないという前提で考えていただきたい。そうでないと結論が出ないと考える。

<竹内委員>

私が言いたいのは、どの学校に決定しても跡地は企業庁の土地なので、土地活用が決定するまでは地域で利用させて欲しいという要望を出したい、ということで提案させていただいた。

<鳥越議長>

そうであれば、要望を出すことはできるだろう。

<山崎委員>

一小と二小に耐震補強工事をする場合、どのような方法になるのか、事務局に確認したい。他の学校で見ると、教室内に梁を入れるものになるのか。教室内にX型に梁を入れると教室の日当たりが悪くなると思うが。

<事務局>

基本的に、現在他の学校で行われている工事と同じなので、教室内に梁を入れるものになる。

跡地についてだが、現在、磯辺地区の小学校は企業庁から一年更新で土地を借りており、学校として使わなくなった場合は現状復帰して返還する契約になっている。

跡施設利用については地元要望を取りまとめることになるが、磯辺地区は企業庁の土地なので、千葉市と企業庁の両側に要望を提出していただくことになるのかと思う。その場合に、土地の持ち主である企業庁がどう判断するかは分からない。これについては、一小・二小・四小それから一中也含めて、全て同じ条件であることはご了解いただきたい。

<竹内委員>

たとえ一小を統合校にして四小を地域で活用したいという話になっても、企業庁の判断で四小跡地が使えなくなることがあるということか。

<事務局>

企業庁との交渉ごとになるので、そういうこともありうる。

<藤岡委員>

今日の結論を出す前に、小学校と同時に中学校も同時進行で統合場所の議論をするほうがいいのではないかと思う。

<近藤委員>

賛成だ。地域バランスもあるので、中学校の位置も含めた議論が必要だろう。

<安達委員>

中学校と小学校の位置は一緒に考えないと結論が出しにくいと思う。

<鳥越議長>

小学校統合場所を決める前に中学校の統合についての議論を同時進行にしたい、という提案について、みなさんの意見を伺いたい。

<事務局>

これまでの議論の整理として、中学校統合については、統合の必要性は昨年度に合意しているものの、時期や場所などについては様々な意見があって、まとまっていないところである。

小学校統合は25年4月開校で合意しているので、要望書の提出リミットは今年9月上旬まで、それでないと言算編成や交流事業の期間がとれない。小学校の要望書提出までに中学校統合が決まれば小中学校を合わせて、決まらなければ小学校だけで、要望書を提出していただくことになるだろう。そういう流れになるので、「将来の中学校統合場所はここにする」と、時期は別にして決めるのか、そういうことも考えた議論をしていただければと思う。

<大浦委員>

全体の地域バランスを見るのか、子どもの通学を見るのか。判断基準を決めれば、一小か四小が決まるように思う。耐震工事は問題にしないで、将来の磯辺の高齢化等を考えて、一小か四小か決めればいいのではないだろうか。

<石塚委員>

子どもにとって、どこがいいのか、みなさんの意見をできるだけ吸い上げて決定したい。

<鳥越議長>

大浦委員から意見が出たように、一小か四小か決めてみてはどうかと思うが、皆さんの意見を伺いたい。

<大和田委員>

二小は「統合小学校が四小の場所になるなら、統合中学校を一中に」というお願いをしているので、一小か四小かを決める際には、それを含めてお願いしたい。

<鳥越議長>

そのバランスを考えると、決まらない。まず小学校を決めて、中学校を考えるときにバランスを考えればいいのではないだろうか。

<大和田委員>

二小としては、仮に統合小学校が四小の場所になったとしても、一中が残れば構わないという意見がある。ここで四小に決定して四小に通い始めた後、中学校が統合されたときに二中になったとしたら、二小保護者としては「騙された」ということになってしまう。

<鳥越議長>

小学校統合の条件に中学校を出してきたところに問題がある。小学校をまず考えなければならぬ。中学校を引き合いに小学校の話をする、最初から決まったようなものになってしまう。そうでなくて、小学校は小学校で考えるべきだろう。

<竹内委員>

二小からは小学校3校同時統合の条件として「小中同時統合、且つ、二小でないなら四小を統合小学校に、一中を統合中学校に」ということが提示されて3校同時統合が決定したわけだから、それを無視するのはおかしい。

<鳥越議長>

小学校の統合に中学校を条件に出してくるのは違うと思う。そうであれば小学校の統合に反対ということになるだろう。

<大和田委員>

地域のブロックを見ると、学校が2つとも無くなるというのはバランス的に良くない。

<別所委員>

地域の避難場所とかいうのは、地域全体として考える課題であって、小学校保護者が出す条件としては厳しいと思う。小学校として考えることが第一で、そこ（一中を統合中学校）に固執されることは無いようお願いしたい。

<村上委員>

中学校については、矢印は統合の方向に向いているが考え方はいろいろなので、同時統合は現時点では置いておいて、小学校は25年4月開校を進めて、中学校は一中二中の考えかたを

聞いてじっくり進めたほうがいいと思う。

<鳥越議長>

二小保護者代表からは、一中を前提として四小を候補としてくれということだが、それは全てあてはめると結論がまとまらなくなるので、学校保護者の意見として伺っておきたい。本日は小学校の統合場所について、前回の協議会で「次回に結論を出す」としていたので、結論を出したいと思うがよろしいか。

<水谷委員>

会長が言ったように、ここでは学校適正配置を決めているので、学校の配置を優先して、それから地域のことを決めないと決まらないと思う。先ほどの中学校の話と同じで、地域のことを持ち出すと決まらない。ここは小学校の適正配置を決める場なので、焦点を小学校に絞って、一小か四小を決めるべきだろう。

<竹内委員>

この地域の中でへそになるのは一中である。施設として小学校として使えるという観点で、一中も統合小学校の候補に含めることが出来るのだろうと思う。小中同時統合が出来るのであれば、それがいいのではないかと私は思う。更に地域の避難場所として学校を確保するという観点を加えるなら、学校として一番広いのは一中なので、仮に中学校の統合校が二中になった場合に一小しか残らなくなるのであれば、一中を広い避難場所として確保するという考え方もあるだろう。統合小学校について、一小か四小かという話になっているが、一中も選択肢に加えてはどうかと思う。

<大浦委員>

中学校統合を同時にするならそれはいいが、同時統合が決まっていない中でその話を出すと混乱する。中学校については同時統合するか遅らせるかはまだ決まっていない。まずは小学校だけで考えないと、決まらないだろう。

<橋爪委員>

今日結論を出すのではなく、協議会で一小か四小に決まりました、というのを持ち帰って保護者の意見をまとめてくるのがいいのではないだろうか。

<大和田委員>

一小か四小か、ということであれば、一小保護者は一小がいい、四小保護者は四小がいい、ということになるので、二小保護者がどうするか、ということになってしまうと思うが。

<村上委員>

保護者の皆さんには、一小か四小に決まりました、というのを持ち帰ってもらって、次回にはどちらかに決まりますよ、と説明してもらったらいいだろう。

<鳥越議長>

前は、次回に統合小学校の位置を決めるという話だった。

<近藤委員>

真砂地区の協議会の議事録を見ると、委員の意見を聞いて、多い方に決まっている。この場は決める場所なので、全体の意見を聞いて決めてしまうべきだろう。そのように進めていかないと、いちいち反対意見を聞いていたら決まらない。

<鳥越議長>

今回いろいろ意見が出たが、一小か四小か、決定したいと思う。よろしいか。

<鬼塚委員>

高浜地区の私が言っているかわからないが、今回決めてしまって、それで各校の代表のみなさんはいいのか。

<藤岡委員>

皆さんここへは代表で出ている。持ち帰って、また反対だったら、紛糾してしまう。それをやりとりしていたら、いつまでも決まらない。

<竹内委員>

自治会と保護者会の違いがあるだろう。自治会は全権委任に近い形で来ているが、保護者会は必ずしも全権委任ではなく、何らかの形でフィードバックすることが求められている。この場で決をとらないと言っているわけではない。一旦、こういう状況になったと持ち帰って、保護者会の中で出た意見を吸収したうえで次回皆さんに提示して最終結論を出すということであれば、どの保護者会も納得すると思う。ところが、一・二・四小のどれかにするから意見を出してください、とアンケートを取ってきました、議論しました、議論の末最終決定しました、となるとスピードが速すぎて保護者がついていけなくなるので、置いていかれた保護者には不満を持つと私は思う。皆さんは大丈夫だと言われるけれど、私はその点が気になる。

<大浦委員>

第一候補として一小が、第二候補として四小が挙がった、と伝えたほうがいいのか。その方向性を伝えて、次回最終的な結論を出せばいいと思う。

<磯辺第四小学校保護者と教職員の会代表>

当事者の四小として意見を言わせてもらおうと、保護者の皆さんも統合場所がどこになるのかという決定を心待ちにしているので、今年度中に統合場所を決めてもらいたい。

<磯辺第一小学校保護者会代表>

前回持ち帰ったときに、保護者も一小か四小という感覚になっている。協議会では四小が位置的にいいという意見が多かったということも説明している。今回持ち帰っても、一小としての意見は変わらないと思う。

<事務局>

一小と四小は今回の協議で結論を得て、下ろしたいということだった。もう1校の当事者である二小の意見を貰ってはどうか。

<大和田委員>

いままでの協議でも話が出ているが、二小保護者としては、安全と距離を考えると四小が妥当という意見が多い。

<事務局>

教育委員会として発言させてもらおうと、先ほど水谷委員の発言があったとおり、子どもたちのためにより良い環境を整えてもらいたいということが根本的な適正配置の趣旨なので、それを踏まえた議論をお願いしたい。

<鳥越議長>

一小か四小か、決を採り、その結果を本協議会の総意としたいがいかがか。(異議なし)

決を採る。一小が6人。四小が12人ということである。

本日の会議では四小を統合校にすると結論を出したい。事務局いかがか。

<事務局>

四小とした場合に、統合方法が2つある。B案として説明した「居ながら施行」という方法であれば引越しが少なく、子どもたちにも先生方にも負担が少ない。デメリットとして四小の児童には統合前年度に若干迷惑を掛けることと、統合初年度も工事が残るので迷惑を掛ける部分があるが、その方向が子どもたちにとってはいいと思うが、いかがだろうか。

<水谷委員>

四小の問題なので、他の委員はB案がいいということ踏まえて、四小の保護者会で決めてもらってB案で通してもらったうえで次回結論というのはどうか。

<磯辺第四小学校保護者と教職員の会代表>

四小には空き教室がたくさんあるので、B案で問題ないと思う。

<水谷委員>

他の学校はA案では2回必要な引っ越しが1回で済むからそれがいいのだろう。が、四小は自分たちの問題なので工事の内容とか期間とか、保護者に説明したうえで決めてはどうか。

<事務局>

あくまで案の段階なので、今後出来るだけ負担がない方向で詳細を詰めていき、工事の詳細が決定すれば説明会をさせていただくことになる。万一、B案のほうがA案よりもデメリットが多いということになれば、改めて協議会に仮校舎をどこにするかということも議論していただくことになるが、現時点の方向性としてはB案ということで施設関係の所管と詰めていきたいと思う。

<鳥越議長>

事務局と四小でよく話し合っていたきたい。  
小学校の統合場所については、四小とする。

## 議題2 中学校の統合について

<鳥越議長>

本協議会では、中学校の統合の必要性については合意している。ただし、統合時期や場所については様々な意見があり、現段階ではまとまっていない。今回小学校3校の統合が合意したので、このことも踏まえ、改めて中学校の統合について協議したい。

なお、本日は結論は出さず、意見交換の場としたい。よろしく願います。

<橋爪委員>

二中で中学校の統合に関するアンケートをとった。小学校は3校を25年4月に統合、小学校統合場所は次回以降継続審議、一小隣の跡地を使って統合中にすることはできないので既存の施設を活用する方向で考える、一中と一・二・四小は小中同時統合を希望、の4点を前提にした。また、磯辺地区の小中学校の校舎等の状況や、一中には独立したサッカーコートと野球グラウンド、フェンスで囲んだテニスコートが4面ある、といった文面も付けた。回収率85%のうち、統合時期について、小中同時統合が53%、小学校統合の8年後が47%。私はかなり前向きになってきたと感じている、3%の差だが、同時統合が上回ってきた。統合場所については一中が8%、理由は広いから、二中が56%、理由は学区の中心であること、耐震基準を満たしていること、市所有の土地だから。どちらでもいいという選択肢も付けたところ、36%あった。意見としては、少数ではあるが、場所が遠い・母校が無くなるといったことではなく、子どもたちがより良い教育環境の中で過ごせるように早期統合を願うというものもあった。統合すると先生の負担が減るだろうし、生徒が増えることのメリットが大きいという認識もある。もちろん、大規模校になることへの不安を抱える保護者もあり、全部が賛成というわけではないが、全体としてはかなり前向きになってきたことを感じる。

<吉田みどり委員>

一中でもアンケートをとった。中学校の統合時期に関する設問では、「小学校と同時」46%、「小学校と別でもいいが早く」28%、合わせて74%が早期統合を希望している。「小学校統合の8年以降後」は9%。1つの小学校から1つの中学校に進学することを心配する保護者も多く、できれば同時に早期にという意見が一番多い。統合場所は一中か二中かという設問では、「一中」83%、理由としては広いこと、地域の中心にあること。「一中を統合小学校にするのは反対」74%、これだけの敷地面積をなぜ小学校にするのかという理由。

<鳥越議長>

時間がきたので、次回の継続審議とする。

なお、本日は今年度最後の会議となる。役員改選等で委員を交代する団体等もあると考えるが、委員の皆さんには引き継ぎを十分に行っていただきたい。

また、提案だが、今回、小学校統合についての一定の結論が出たので、ここまでの合意事項と来年度の協議の進め方について、事務局に「お知らせ」を作成していただき、広く周知したいと考える。

<事務局>

承知した。

○「お知らせ」について

「お知らせ」の内容については、概略を

- 1 これまでの経緯
- 2 小学校の統合の組み合わせ
- 3 小学校の統合時期（十分交流期間を取る中で最短）
- 4 小学校の統合場所（子どもたちにとってより良い場所）

とし、具体的には会長・副会長と相談して作成したい。

配布については、

保護者：現在の中学校1・2年と小学校1～6年生を対象に、終業式前に配布するのが良いだろうと考えるので、遅くとも3月15日（火）までに配布する。また、来年度の小学校新入生には入学時に配付する。

自治会：回覧・掲示を依頼する。

よろしく願いしたい。

### 議題3 次回開催日時・場所について

<鳥越議長>

次回の開催日時・場所を決めたい。役員改選もあるので、次回は5月末から6月初めの開催とし、具体的な日時については会長・副会長に一任していただきたいが、いかがか。（異議なし）他になければ、これで議事をすべて終了する。ご協力感謝する。

### （3）諸連絡

<事務局>

○議事要旨の確認について、今までどおり、案を送るので確認をお願いしたい。

○来年度の委員について

保護者会：会長を基本とし、会長以外が委員になる場合は、会長と同等の立場で出席いただくということで、会長の推薦をお願いする。

自治会：新年度事務局から現在の委員へ電話等で問い合わせをする。役員改選等に伴い本協議会の委員を交代する場合は、地区連の会長と相談のうえ、新たな方に就任を依頼する。

学校評議員：交代する場合は、学校長と相談のうえ、就任を依頼する。

<高須企画課長>

今年度一年間の皆様の真摯な協議に対し、教育委員会を代表してお礼を申し上げます。

平成20年2月から3年間、18回にも及ぶ、この地元代表協議会にご参加いただき、真摯な議論をしていただいたこと、感謝します。代表として毎回各団体に協議内容を持ち帰って調整を行い、また意見集約して述べていただいている、非常にご苦勞されてきた思いが、先ほどの話の中からもよく分かりました。また今後も、子どもたちの教育環境の整備についてご助力いただければと思います。どうもありがとうございました。

### （4）閉会

<吉岡会長>

本日はみぞれ混じりの中、ご出席いただき、熱い議論をしてもらったこと、本当に感謝している。このまちの学校教育が全国に知れ渡るようになるといいと思っている。ご協力をよろしく願います。